

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月22日

埼玉県知事 殿



提出者

住 所 埼玉県朝霞市宮戸一丁目3番1号

氏 名 東京都水道局

朝霞浄水管理事務所長 都丸 敦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

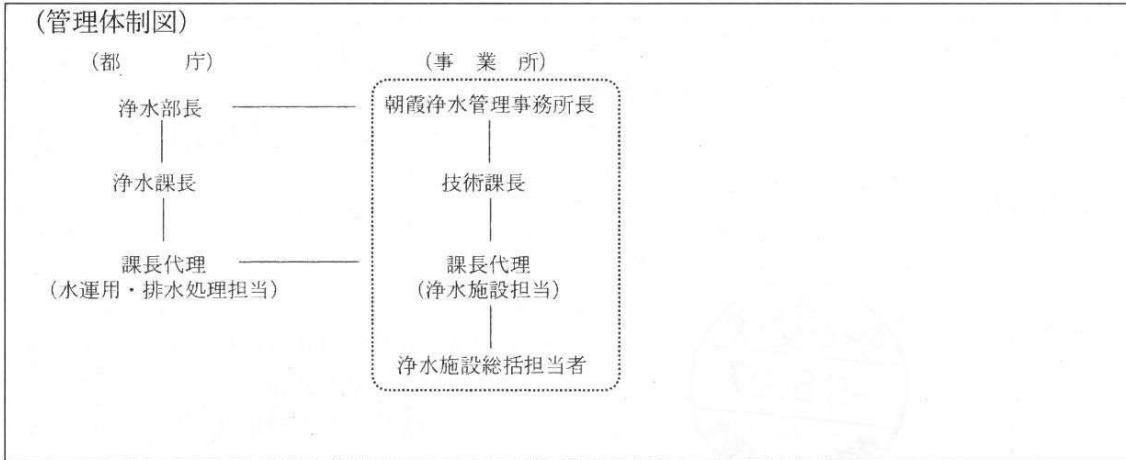
電話番号 048-475-3216

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東京都水道局朝霞浄水場			
事業場の所在地	埼玉県朝霞市宮戸一丁目3番1号			
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで			
当該事業場において現に行っている事業に関する事項				
① 事業の種類	F36 水道業			
② 事業の規模	約3,224億円(令和3年度水道局全体業収益)			
③ 従業員数	108名			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・上水道汚泥→脱水→発生土(ケーキ) → <table border="1"><tr><td>埋立処分委託</td></tr><tr><td>再資源化処分委託</td></tr><tr><td>園芸用土として活用(譲渡)</td></tr></table>・その他廃棄物→処分委託	埋立処分委託	再資源化処分委託	園芸用土として活用(譲渡)
埋立処分委託				
再資源化処分委託				
園芸用土として活用(譲渡)				

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



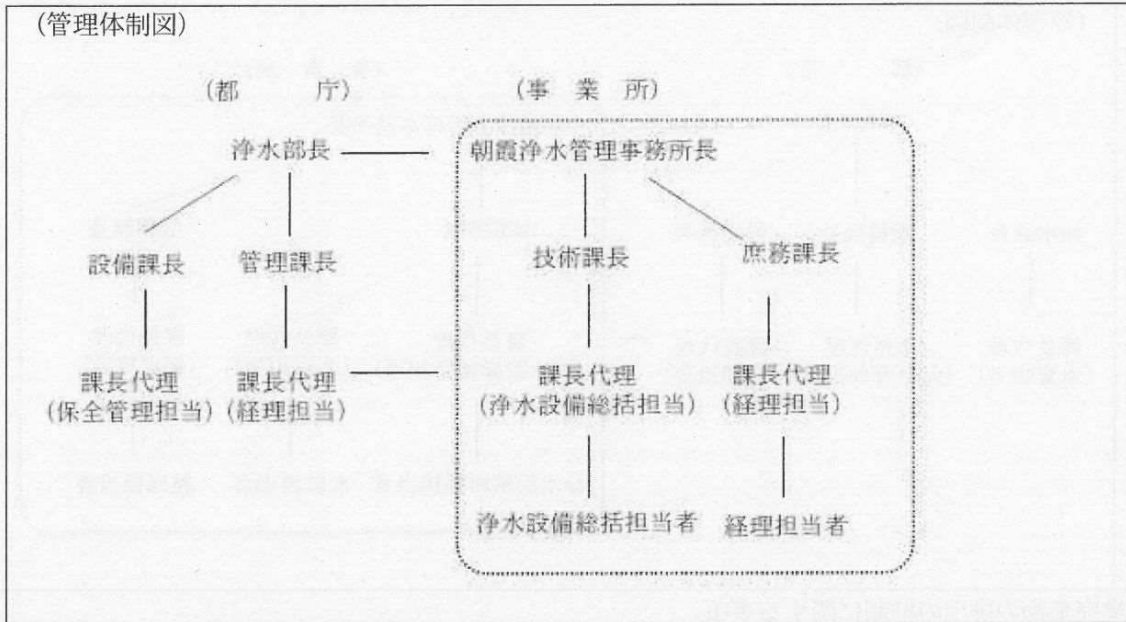
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	
	排出量	212,874 t	
	(これまでに実施した取組) (発生土、汚泥) 気象条件により変動するため抑制が困難である。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	
	排出量	302,000 t	
	(今後実施する予定の取組) (発生土) 気象条件により変動するため抑制が困難である。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥は濃縮して減量した上で、ケーキヤード等に仮置きし、有効利用や埋め立てをしやすいとする。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥は濃縮して減量した上で、ケーキヤード等に仮置きし、有効利用や埋め立てをしやすいとする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



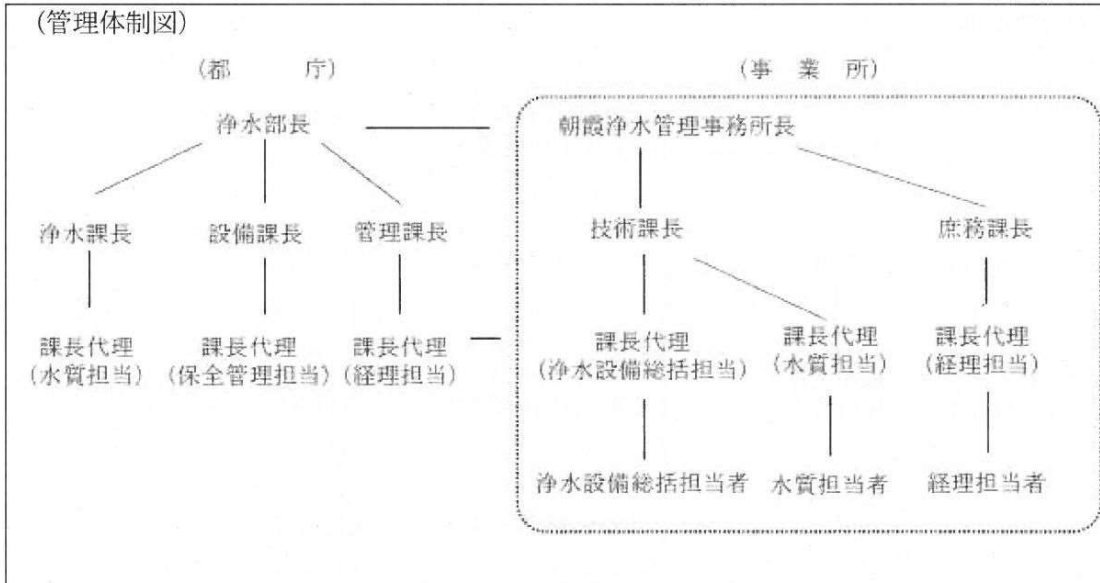
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物
	排出量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合廃棄物
	排出量	10 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排 出 量	0 t	0.026 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排 出 量	10 t	1.0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



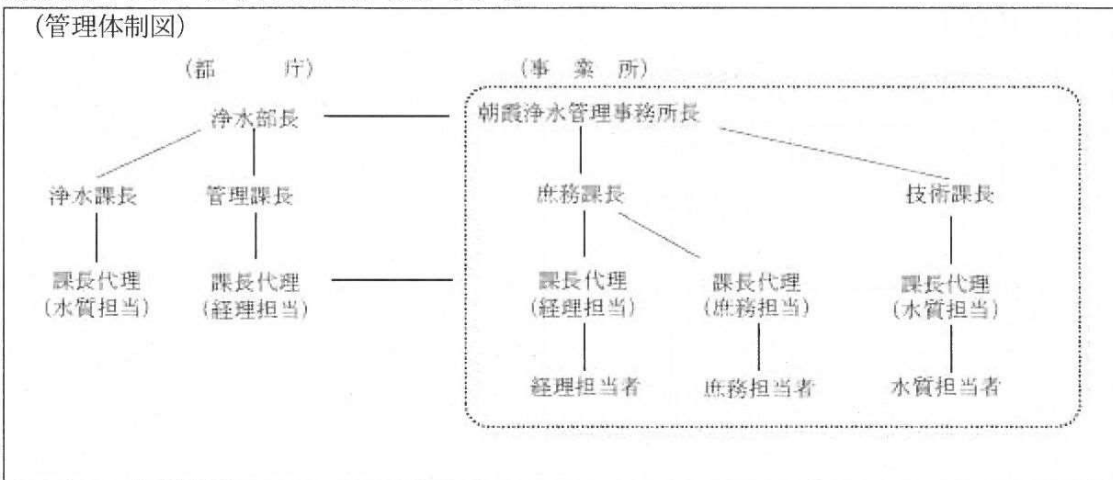
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油 (有機化合物)
	排出量	0 t	0.0045 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃油 (有機化合物)
	排出量	0.01 t	0.01 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	0.5884 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	20 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土） 中間処理後	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	7,010	
	(これまでに実施した取組) 発生土については、一部園芸用土等に利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	7,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 発生土は、園芸用土等として有効活用を図る。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	- t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	199,423 t	- t
(これまでに実施した取組) 脱水処理により減量			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	288,500 t	- t
(今後実施する予定の取組) 脱水処理により減量			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	金属くず	混合廃棄物
	全処理委託量	6,439 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	3,069 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) (発生土) 埋め立て処分するとともに、一部を粒状改良土等として処理委託した。			

(第4-2面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃酸
	全処理委託量	0 t	0.026 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.026 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) (発生土) 埋め立て処分するとともに、一部を粒状改良土等として処理委託した。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃油(有機化合物)	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	0.0045 t	0.5884 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	0.0045 t	0.5884 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) (発生土) 埋め立て処分するとともに、一部を粒状改良土等として処理委託した。			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥（発生土）	金属くず	混合廃棄物
	全処理委託量	16,200 t	10 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	9,800 t	10 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) 埋立処分するとともに、一部を粒状改良土等として処理委託する。				
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃酸
	全処理委託量	10 t	1.0 t	0.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	1.0 t	0.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 埋立処分するとともに、一部を粒状改良土等として処理委託する。			
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃油(有機化合物)	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	0.01t	20t	10t
	優良認定処理業者への 処理委託量	-t	-t	-t
	再生利用業者への 処理委託量	0.01t	20t	10t
	認定熱回収業者への 処理委託量	-t	-t	-t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-t	-t	-t
	(今後実施する予定の取組) 埋立処分するとともに、一部を粒状改良土等として処理委託する。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。